

**JA赤城たちばなは、  
「人」と「農」を愛し  
地域の発展に貢献します。**

●JA赤城たちばなは人を大切にします。

人とは、組合員、利用者、地域の人々、役職員のことであり、お互いに人を思いやるやさしい心・助け合う心・協同の心を育み、人ととの絆を大切にします。

●JA赤城たちばなは自然を大切にします。

農業を通じて水・緑を守り、美しい環境を残していくために自然を大切にします。

●JA赤城たちばなは地域の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。

JAは地域の人々と共生・共存します。JAの持つ機能を最大限に発揮し、ニーズに合った事業・サービスを提供し、豊かな暮らしの実現と安心して暮らせる明るい社会づくり、地域の発展に貢献します。

**JA赤城たちばな**  
赤城橘農業協同組合

渋川市赤城町滝沢64-2  
TEL 0279-56-4151



**JA赤城たちばな**

# 自己改革に挑戦

～地域に根ざし組合員に信頼されるJAを目指して～

3ヵ年計画のもと自己改革に取り組んでいます。



JAグループ群馬では「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指しています。これに向けて当JAでは「農家の豊かな生活の実現」「組合員に喜ばれるサービスの提供」「地域の活性化に貢献」「営農を基軸とした確かなJA経営」の4つの基本目標を掲げ、総合事業を通じて「組合員が実感できる自己改革の実践」に役職員一丸となり取り組んでいます。

今回はその取り組みの一部を紹介します。

# 1 農家の豊かな生活の実現

農家の安定した収入を確保するため、販売高を5%アップさせる

主な取り組み

- 農産物の品質の向上のため、定期的な栽培指導と、きめの細かい巡回指導を実施しています。立地条件に合った振興作物の産地化形成や、消費者が好む新しい品種への切り替えなど行政との連携を密にして、地域と一緒に指導事業を展開し農産物の生産振興の発展に取り組んでいます。
- 経営分析に基づいたプラン設計と指導を行っています。具体的には出荷経営支援システムを活用し、生産者の出荷実績から経営診断表を作成。経営の安定化を図るお手伝いをしています。
- 新規就農希望者らを対象に就農支援講座を開いています。土づくりや農薬の使用方法など、農業の基礎を学べる体制を整え、農業者としての独立を支援。毎年、新規就農者が順調に誕生しています。
- 16年度から18年度の3年間で、目標として掲げた販売高5%増の48億円を17年度に達成しました。



品質の統一を図り目ぞろえする生産者(ズッキーニ)



農業機械を畑で実践(就農支援講座)



赤城橘生産者協議会設立総会



完成した集出荷貯蔵施設(本所敷地内)

# 2 組合員に喜ばれるサービスの提供

組合員の満足度の向上を実現するため、JAらしいサービスを追及する

主な取り組み

- JA管内では、ホウレンソウ、ネギ、キャベツなどの露地野菜や施設野菜の栽培が盛んで、加工・業務用野菜として都市部への出荷の増加を見込んでいます。そこで、集出荷貯蔵施設を新たに建設し(平成30年3月完成)、農業者の所得増大や農業生産の拡大など地域農業の活性化を図っています。
- 営農担当職員による高度で細やかな対応を行い、有利販売と品質の統一等を図るために生産組織の統廃合を平成30年6月に完了しました。(50部会を15部会に集約)
- JA役職員と組合員との絆を深めるとともに、有益な情報を提供するため全戸訪問を行っています。

# 3 地域の活性化に貢献

地域の農業を支え、JAと地域との距離を縮める

主な取り組み

- AKAGIグリーンアメニティ、JA青年部と共に、野菜の収穫を体験する「ちびっ子農業体験」を管内の小学生を対象に毎年7月を行っています。
- JA女性部は消費者との交流を通した農業・食育に繋げる活動として、地元食材を生かした料理教室などを開催しています。
- 高齢の方に心豊かな生活を送ってもらおうと「ミニデイサービス」を開催しています。高齢者の生きがいづくりや健康管理など様々な福祉サービスを提供しています。
- たちばな古里まつりや赤城ふれあいまつりなど地域イベントに積極的に参加しています。
- 土・日曜の休日を活用し各支所で年金、ローン、相続などの各種相談会を開催しています。



ちびっ子農業体験学習



JA職員の清掃活動



組合員の豊かな生活と安心を提供

# 4 営農を軸とした確かなJA経営

安定経営の基盤づくりを図るため、営農経済部門収益の拡大を目指す

主な取り組み

- うまみが濃厚で柔らかい肉質の地域銘柄豚「赤城ポーク」を各種イベントで紹介し、安全・安心でおいしい豚肉としてブランドの強化を図っています。
- 新規作物としてトマト契約栽培や露地ナス栽培を推奨しています。トマト契約栽培については、生産農家の負担を減らすため、JAの子会社がパック詰めなどの作業を請け負っています。
- 金融共済複合渉外と営農経済渉外(TAC)の合同による高度なサービスの提供を行っています。
- イベントやキャンペーンを実施し組合員のメリットをアピールし、組合員の加入促進を図っています。



助け合い組織「ひまわり会」によるミニデイサービス



赤城まつりで地域銘柄豚「赤城ポーク」をPR